

フェニックス西部小通信2月

研究授業

先月のことになりましたが1月25日（水）松岡教諭が担任している2・3年生複式学級の算数で行



いました。『100cmをこえる長さ』という「長さについて単位と測定の意味を理解し、測定できるようにする」ことをねらった学習と、『表とグラフ』という「資料を分類・整理し、表やグラフを用いて分かりやすく表したり読み取ったりすることができるようにする」ことをねらった学習でした。先生が一方の学年の直接指導をしている間、もう一方の子どもたちは自分たちで協力して学習を進めることができていました。受け身では真の力は付かず、自主的に取り組み、深く考え、話し合いながら工夫して解決することが、これからの社会を生き抜くために必要な学力ですから、複式学級はその先取りをしていると言えます。これからも力を合わせて頑張ってもらいたいと思います。



なかよし給食集会

同じ25日に実施しました。給食週間なので、いつもの『なかよし給食』と違って『集会』として、給食調理の入田先生、松田先生、給食事務の笹岡先生に加え、4年生に食育の授業をしていただくために鏡中からお招きした栄養士の松本先生に、子どもたちがお礼の手紙を読み、みんなで栄養の歌を歌いました。とても寒い



日でしたが楽しいひとときを過ごすことができました。

給食試食会

1月27日（金）、「学校給食を召し上がってみませんか？」というお誘いを、保護者の方々ばかりでなく、いつもお世話になっている『見守り隊』の方々にもお声掛けをして実施しました。メニューのテーマは鹿児島県で、さつま汁、きびなごフライ、ひじきの炒り煮で、「おいしい。量も十分。仲良く食べる雰囲気が良い。」と大変好評でした。



なわとび大会

1月30日（月）

実施、この日に向けて体育の時間ばかりでなく、休み時間もお家でも、一生懸命練習に励んだ成果を発揮してくれました。個人種目ばかりでなく、協力して跳ぶ長縄を使った『8の字跳び』も、例年に比べてとても上手だったそうです。1年生が引っ掛けてしまっても文句を言わないところに西部っ子のよさ、家族のような優しさが表れていました。

